

組合スポットライト

パッションフルーツ企業組合やまがた

- 所在地: 寒河江市元町4-12-34 ● TEL: 0237-84-0022
- URL <http://www.passion-yamagata.com> ● 設立: 平成26年6月 ● 出資金: 600千円
- 組合員数: 5名 ● 主な事業: パッションフルーツ等の加工品・製造・販売

理事長の石岡氏は県外でサラリーマン生活を送っていたが、5年ほど前、茨城県つくば市に住んでいた頃ブルーベリーのオーナー制度のチラシを見て興味を持ち、2011年に脱サラし山形に戻り、ブルーベリーの栽培を始めた。園芸試験場にて農業について学んでいた頃、岐阜県でパッションフルーツが作られていることを知り、「夏が暑い山形でも栽培できるはず」との考えから試験的に栽培を始め、2年の研究を重ね山形での栽培を成功させた。



パッションフルーツの果実

「消費者に食べてもらうまで責任を持って取組みたい」という思いから法人化を決意、栽培から加工まで共同化して取り組み、販路開拓を目指し企業組合を設立した。

農業大学時代からの知人を介して、現在の組合員でもある寒河江市のフランス料理店「ビストロクイジニエ」のシェフ佐藤次男氏、オーナー大島照代氏と知り合い、パッションフルーツの加工開発のため連携することとなった。クイジニエでは、無農薬（オーガニック）にこだわったスイーツとして、ケーキやゼリー、ババロアを提供している。また、県内でなじみが薄い南国フルーツのPRにつなげようと、山形市の菓子店戸田屋へ飛び込みでパッションフルーツを使った和菓子開発を依頼し、連携により和菓子としては珍しい「山形パッション羊羹（ようかん）」を開発した。

組合では県産パッションフルーツを多くの人に知ってもらうため、パッションフルーツの鉢や苗木の販売事業を行っている。パッションフルーツは、葉が大きく防虫効果があり花が咲くことから観葉植物としての利用やアサガオやゴーヤのようにツルが伸びる性質を活かし、グリーンカーテンとしても利用が可能。



パッションフルーツの花

パッションフルーツは、南米ブラジル原産の「つる性多年性熱帯果樹」で、花が時計のように見えることからクダモノトケイソウという和名がついている。果実の成分は、ビタミン、ミネラル、βカロチン、ナイアシン、葉酸など栄養素が豊富で健康維持（老化防止・疲労回復等）に貢献するトロピカルフルーツであり、甘い香りによるアロマセラピー効果や抗酸化作用によるアイチエイジングにも役立つ。また葉酸が多く妊娠中の女性にお勧めの果物となっている。